

# 哲学倫理学

(Philosophical and Ethical Studies)

担当教員

非常勤講師 坂井 礼文

科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等
人と文化	1年次 前期	講義	1.5単位	選択

## 【概要】

「哲学的に考える」とはどういうことかを、「善い/悪い」「正しい/正しくない」などの問題を扱う哲学の分野である倫理学を通じて学ぶ。前期の前半では、倫理学の基本概念である功利主義、義務論、自由主義について理解を深めていく。それらの基本概念をふまえたうえで、後半では、応用倫理学の諸問題を取り上げる。

この授業は全て対面授業で構成する。

## 【授業の一般目標】

哲学的・倫理的思考を学ぶことによって、さまざまなものの見方、考え方に触れること、そして自分のものの考え方をもう一度見直し、論理的に考えることができる。

「思考実験」を行うことで、自分の倫理的立場・諸前提を自覚し、それを他者に対して明確に表現できる。

## 【準備学習(予習・復習)】

この講義では主に復習に時間を使うこと。

毎回の資料を授業後に読み直し、理解の行き届かない部分についてはまず自分で考えてみる。それでもわからない部分について、友人同士で議論したり、教員に質問したりすること。

特に思考実験の内容について振り返る習慣をつけること。復習に割く時間は各回の内容によって変わるが、平均して1時間前後であると考えられる。

## 【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	哲学・倫理学とは？	坂井	哲学・倫理学が扱う問いの領域について説明できる。思考実験の手法について説明できる。
2	功利主義	坂井	功利主義の概念について多面的に説明できる。
3	功利主義	坂井	功利主義の概念について多面的に説明できる。
4	義務論	坂井	義務論の概念について多面的に説明できる。
5	義務論	坂井	義務論の概念について多面的に説明できる。
6	自由主義	坂井	自由主義の概念について多面的に説明できる。
7	自由主義	坂井	自由主義の概念について多面的に説明できる。
8	患者のプライバシー	坂井	患者のプライバシーをめぐる倫理的問題について説明できる。
9	患者のプライバシー	坂井	患者のプライバシーをめぐる倫理的問題について説明できる。
10	医療資源配分	坂井	医療資源配分をめぐる倫理的問題について説明できる。
11	医療資源配分	坂井	医療資源配分をめぐる倫理的問題について説明できる。
12	代理母	坂井	代理母をめぐる倫理的問題について説明できる。
13	代理母	坂井	代理母をめぐる倫理的問題について説明できる。
14	安楽死と尊厳死	坂井	安楽死と尊厳死をめぐる倫理的問題について説明できる。
15	総括・まとめ	坂井	

(書名)

(著者・編者)

(発行所)

教科書 なし

## 【成績評価方法・基準】

平常点100%(復習、授業態度、授業中の発言、オピニオンシート等)

## 【評価のフィードバック】

成績評価の講評については、個別に対応する。